

日本がん看護学会災害対策委員会・SIG災害がん看護共催企画プログラム

明日からできる！ 地震発生時の外来がん薬物療法 看護における災害対策

頻発する大規模自然災害のなかでも、地震災害はいつ発生するか予測できず、大きな被害をもたらします。本研修会では、大阪北部地震での実体験、がん薬物療法に特徴的な災害対策に関する講演を踏まえ、がん薬物療法室という特殊な環境での災害による影響を事例で考えながら、具体的な災害対応について考えることができます。

そして参加者同士の意見交換を通し、災害時にも強い外来がん看護体制の構築につながる契機になることを期待しています。業務にすぐに活かせるヒントが得られる場として、ぜひご参加ください。

日時・会場

2026年2月21日(土) 9:00～10:30

第2会場

(大阪府立国際会議場 5階小ホール)

座長

(敬称略)

宮下 光令

(災害対策委員会委員長／東北大学大学院医学系研究科)

岸田 さな江

(SIG災害がん看護代表／獨協医科大学病院看護部 がん看護専門看護師)

講師

(敬称略)

1. 災害経験から見つめ直すがん薬物療法の現場

田墨 恵子

(大阪大学医学部附属病院看護部／がん看護専門看護師)

2. がん薬物療法の特徴を踏まえた災害対策

今津 陽子

(災害対策委員会副委員長／東京科学大学大学院保健衛生学研究科)

模擬体験 (参加型セッション)

地震災害時の外来がん薬物療法室シミュレーション

菅野 久美 (災害対策委員会委員／福島県立医科大学看護学部)